（本號八面）　（明治廿五年三月廿一日　郵便報知新聞　第認可）　明治二十六年五月十日　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

第三千六百五十一號　水曜日
明治廿六年五月十日
舊曆癸巳三月廿五日（丁未）
月入午後六時四十三分
出午前四時三十二分
月入午後一時二十四分
出午前一時五分
潮汐午前十一時三十四分
午後十一時三十四分
（西暦一千八百九十三年）

青年俳優の奬勵

時事新報の金牌

演劇は文明の事なり俳優は文明の人なり復た凡俗世界の玩弄物に非ず既に文明の人とあれば其技倆も亦百般の文明事業と共に歩を與にして駸々上達すべきは論を俟たず左れば梨園の巨擘市川團十郎、尾上菊五郎、市川左團治等凡そ老優の輩は藝道既に已に大成して世間自から一定の評論あれば特に喙を容る可き限りにあらざれども其以下の後進生は則ち然らず日夜勉勵先輩の驥尾に就て進まんとする其趣は正に是れ春風に開くの花夏雨に浴するの草一夜の間に面目を改めて人を驚かすもの多し依て時事新報社は曾て同向院の相撲に銀盃を贈りて大に力士社會の氣風を引立たる先例もありかた〳〵世間の好劇家を煩はし是等日新の俳優中に就き誰れか今度歌舞伎座の五月芝居に大に技倆を進めて觀客を悦ばしめたる者か各々其見る所に從ひ優の地位如何に拘はらず役割の利不利を問はず唯その腕前の進歩を標準にして投票せられんことを乞ふ者なり其投票法は時事新報の此社告文を切抜き指定の場所に目指す俳優の名を記して本社へ送付せらるゝことなり社に於ては本月三十一日までに集まりたる其投票數を計へ最多數の者及び以下二名へ金牌を贈る可し亦是れ梨園奬勵の一助たる可きか乎

廿六年五月

時事新報社

投票法

一、投票せんとするものは時事新報の此社告を切取り被撰俳優とある下に其俳優の名を記入して本社に送らるべし

一、投票は一枚に一名限り記入すべし

一、撰ぶべき青年俳優は今度歌舞伎座へ出勤するものに限る

一、投票は來る三十一日を期して〆切り直ちに開票して其得票最も多きもの三名に本社より金牌を贈る

被撰俳優

時事新報

傭吏の始末

從來政府の傭吏は官制通則の規定に據り文武官俸給豫算の定額内に於て使用したるみとなれども本來文武官に非ざる傭の給料を其定額内より支給するは憲法の旨に背きて穩當ならずとの說もありて或は傭の給料額は既定歳出外のものとして議會の自由決議に任するみとゝなる可しと云ふ此說果して事實にして其給額を議會にて議するに至らば節減を見るは自然の勢にして隨て傭の人員も大に減ぜらるゝみとならん明治二十四年の調を見るに中央各官廳に於ける傭の人員は一萬三千七百六十六名その年俸は百五十一萬三千九百三十二圓、警視廳北海道廳及び各府縣に於ける人員は七千百三十四名、年俸七十五萬九千八百七十六圓にして合計二萬九百名、二百二十七萬三千八百八圓の數なれども元來傭の任命は判任官と異にして定員の制限なきが故に事務の必要に據りて隨意に雇入たるものも少なからずと云へば今日の現在に於ては必ず前記の數に超えたるみとならん然るに今後議會の自由決議と爲りて假りに其給額の三分二を節減せらるゝとするも即ち百萬圓以上の金額にして其節減の爲めに解雇せらるゝ人員も幾千人の多數に及ぶみとならん扨此幾千人の者が一時に職を解かれて其行先は如何と云ふに何れも相應の智惠才覺ありて一廉の役に立つみとならんと雖も官吏登用の關門は尚は甚だ嚴重にして容易に入るを許さゝるのみか官制には自から定員の制限あるが故に官途の一方は先づ以て斷念せざるを得ず既に官邊の緣に離れて衣食の困難は眼前に在り廣き社會に生活の道は只實業に就くの一途あるのみにして解雇者の覺悟も定めて此邊に在るみとならんと雖も扨實業に必要なるは資本にして假令ひ智惠才覺あるも囊中無一物とありては如何ともす可らず先づ其資本を得るの方便より最も急なる可し然るに顧みて一方を見れば日本の社會は資本に乏しからざるのみか寧ろ遊金の多きに苦しむは目下の情態にして此頃府下に在る二三の大銀行が預金の利子を引下げたるを見ても其一班を知る可し或は昨年生絲の賣易に一時に三千萬圓の金を外より得たるは目下の遊金を見るの原因なる可しなど云ふものもあれども日本の金融市場に三千萬圓は計ふるに足る可らず國中幾億千萬の資本は空しく遊金と爲り世間に逍遙して其用處を得ざるより多少の利息にても皆無には勝れりとて銀行の預金を多くして其利息の割合を低下せしめ商賈社會には本來無用の長物なる公債證書さへも類りに人氣を催はして昨今の騰貴を致したる次第なれば日本の金滿家は社會の全面に溢るゝ程の大資本を有しながら其用處を得ざるに苦しむものと云ふ可し斯くの如く一方には相應の技倆を有し業に就かんとして資本を得ざるに困難するものあり一方には資本を投ぜんとして用處なきに苦しむものあり若しも此兩者をして相投合せしむるときは双方互に相利して實業の振起は疑ふる可らず其機會は早晩必ず到來するみとならんと雖も目下に於て其投合の容易ならざる事情は外ならず一方の企業者には相應の智惠才覺あり又その目的は云々にして確實疑なしとて充分に之を說明するも一方の資本家は何分にも其人に信用を置かざるの一事にして其双方の間、次第に相近つきていよ〳〵相投合するの機會は尚は數年の後に在りと云はざるを得ず誠に堪へ難き次第なれども是れ又自然の成行にして漫に急にす可らず少しく氣を永くして其機會の到來を待つの外なしと雖も只心に關するは其間の始末なり近來東京の不景氣は世人の一般に唱ふる所なるが其不景氣とは小商賣の繁昌せざるみとにして原因は種々なる其中にも彼の官吏の俸給十分一減の影響の如きは最も著るしきものと云はざるを得ず蓋し十分一減の總額は百萬圓餘に過ぎざれども之が爲めに一般の官吏社會に儉約の風を催ほしたる其結果は不景氣の原因を爲したるものなり然るに尚は其上にも傭吏の給額に百萬圓以上の減少を來すみともあらば其傭を解かれたる幾千人の當惑は申す迄もなく之が爲め府下の繁昌に及ぶ所の影響は如何なる可きや容易ならざる出來事と云はざるを得ず其始末は世人の宜しく注意す可き所なり

官報

○内務省告示第二十六號

一ダイコク、エヒス大神フクノカミ

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十六年五月九日　　内務大臣伯爵井上馨

○内務省告示第二十七號

一日本錄行兌玩錄劵壹圓（日本紙行兌換壹圓銀劵ニ模擬シタルモノ）

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十六年五月九日　　内務大臣伯爵井上馨

發行者未詳

○司法省告示第二十三號

福嶋地方裁判所管内福嶋區裁判所川俣、二本松兩出張所白河區裁判所須賀川、棚倉、石川各出張所及ヒ平區裁判所濱川富岡兩出張所出張裁判ノ儀本年第二期ニ限リ開廷セス

明治二十六年五月九日　　司法大臣芳川顯正

雜報

○紀淡海峽の砲臺　數年前より工事中なる同砲臺も由良深山とも殆んど竣工の場合に至り赤松山の堡壘は本年度に之を竣工せしむる筈にて引續き砲門の据付に着手するよしなるが右竣工の上は明年十二月より由良へ要塞砲兵第二聯隊本部を設けて第一大隊を置き夫より深山へ第二大隊を置くべき見込なりと尤も砲兵は漸次一中隊の三分の一づゝを配置して終に全隊を編制する筈なりと云ふ尚は又其筋にては更に淡路なる鐵嶋、刈藻、行者の三所へ鳴門砲臺を新設するの計畫もある趣にて今度大山陸軍大臣が巡回の途次夫等の場所をも檢分する筈のよしなるが愈々決定の上は二十七年度より繼續事業として起工する見込なりと云へり

○群馬縣下養蠶被害の概算　前號の紙上に記したる如く今回群馬縣下に於ける霜害に付各養蠶家の被りたる損害は夥しき由同縣勸業課の調査に因れば去る二十三年より昨年二十五年迄三ヶ年平均の減收穫高十五萬千二百十三萬餘圓を標準とし本年全管下を通じて平均六分作とすれば其損害高實に三百二十餘萬圓の多額に達すべしと云ふ

○霜除組合設置　長野縣下更科郡の養蠶家石黒勘十郎氏は數年前より桑園霜除組合なるものを組織し毎年八十八夜前後に於て寒暖計四十度以下に下降するや直に組合員に急報し各組合員は生松葉等を携へ桑園に於て之を燃し霜除を爲し全に効を奏したる由にて近來施しつゝある由養蠶地に於ては多くこれを採用せんとの由なりと云ふ

○長崎醫術開業試驗　去月二十日より術開業試驗は去月二十日より隣縣々會議事院に於て學說十六の兩日間長崎病院に於て者總數及受驗人員幷に其及第者

出願總人員　四八九人
前期内　三六八
後期内　一〇三
疾病事故等にて不參の者　二四
中途缺席の者及第者　二〇

○屯田兵軍人軍屬の現況　本部の調査に係る去る一月一日を聞くに少將一名、大佐同二名、少佐同相當官五名、大佐同相當官二十一名、少尉同相當官二十九名、一等軍曹九十七名、兵卒三千三百二十九名、兵卒三千三百五十五名にて合計三千八百五十五名

○家禽品評會　は去る會長榎本子爵以下來會の上覽會の一部を以て之に充てンを始めプラマ、ミノルカ、數十種を陳列したり何れも禽に熱心なる三田豐岡町種の養禽所、種禽產殖場其外豐岡町種禽場出品の獨逸雁知產の尾長鷄二羽其尾の長なりし當日一等賞を得たるなりと

暗色プラマ　飯田平
白色斑冠レグホン　江口百太
パートリッチコーチン　飯田平
アングルシャン　古川平
白色薄紫冠レグホン　飯田平
淡色プラマ　池久
プリモースロック　小林貞
長尾鷄　池久

○全國基督教徒同盟　と有志者は來る二十三日より屋市の美以教會堂に於て聯說教會親睦會等をも開く筈

○清水谷公園の躑躅　早殘りなく散り果て〳〵青葉面槽附けある躑躅は紅白色美事なりと

○兌換銀行劵週報　週間平均の日本銀行兌換劵高等を前週と比較して其增

自五月一日　至五月六日

兌換銀行劵發行高	二、八〇六、三八、〇〇〇、〇〇〇
準備	金貨及金塊
	銀貨及銀塊
	正貨合計
並保證	公債證書
	政府證劵
	商業手形保證計
中央金庫有高	七、〇〇〇、〇〇〇
同紙幣交換に充つる基金	一、三、八、二、〇〇〇、〇〇〇
流通高	一〇、四、二八、〇〇〇、〇〇〇